

平成 28 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

| | | | |
|-------------|--|-------------------------------|--|
| 施設名 | 長良児童センター | 所管課 | 子ども未来部子ども支援課 |
| 所在地 | 岐阜市長良389番地2 | | |
| 指定管理者名 | 社会福祉法人 日本児童育成園 | | |
| 指定期間 | 平成24年4月1日～平成29年3月31日まで | | |
| 選定方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 公募 | <input type="checkbox"/> 非公募 | |
| 料金制 | <input type="checkbox"/> 使用料 | <input type="checkbox"/> 利用料金 | <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし |
| 指定管理委託料(年額) | 14,932,800円 | | |
| 施設の設置目的 | 児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。 | | |
| 施設概要 | ◇構造：鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積：716.74m ² ◇延床面積：515.50m ² ◇施設内容：遊戯室、幼稚室、集会室兼図書学習室、おもちゃ図書館、事務室兼静養室、駐車場 | | |

●利用状況

| | | H28 上半期 | H27 下半期 | H27 上半期 | H26 下半期 | H26 上半期 |
|----------------|-----------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 利用者数 (単位:人) | 来館者数 | 16,923 | 14,865 | 15,109 | 14,400 | 15,612 |
| | 移動児童館利用者数 | 945 | 1,183 | 1,392 | 1,675 | 1,569 |
| 各室稼働 状況 | 移動児童館実施回数(単位:回) | 23 | 26 | 26 | 32 | 30 |
| | 開館日数(単位:日) | 157 | 151 | 156 | 151 | 156 |

●業務の履行確認

| 区 分 | 確 認 事 項 | 履 行 状 況 |
|---------------|---|---|
| 利用者 サービス | ①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施 | ①、⑤計画どおり実施。 ②所長(正規職員、児童厚生員)、正規職員2人(児童厚生員1人、体育指導員1人)、非常勤職員2人、派遣職員4人。 ③毎月のお便りは、小学校、幼稚園、公民館、地域の公園、健康センターなどに配布し、ホームページにも掲載。職員ブログでクラブや行事の様子を写真つきで掲載。地域の情報紙「ふれあいタイムス」に毎月のお勧め行事を掲載。 ④苦情・クレームについては、マニュアルに従って対応。アンケートの要望に対する回答を館内に掲示。 |
| 自主事業・ 提案事業 | — | — |
| 施設管理 | ①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理 | ①、②、④適切に実施。 ③裏紙使用による事務用品の節約、ペットボトルや牛乳パックを利用した遊びの中でエコを再考している。 |
| 施設修繕 | 下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備 | ①、②センター内の清掃や修理に関する職員で対応している。 |
| 危機管理・ 法令遵守 | ①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守 | ①、③適切に実施。毎月の安全点検を継続。情報共有することで、危機管理意識を高めている。 ②共有を密にすることで、危機管理意識を高めている。利用者と一緒に避難方法を確認。職員間でも各部屋の避難場所を確認し合っている。独自に不審者や事故の対応マニュアル等を作成している。 |

●利用者評価

| | |
|-------------------|--|
| 利用者アンケートの実施状況 | <p>○保護者用アンケート 回答者数58人 平成28年8月1日から平成28年9月21日に利用者アンケート(無記名)を実施。 ○児童用アンケート 回答者数50人</p> |
| 利用者アンケートの実施結果 | <p>○保護者用アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童センターのホームページ・ブログを見たことがありますか？ 　ある48人、ない8人、あることは知っているが見たことがない10人 ・ROBOちゃんクラブ(2、3歳児対象)、ポロちゃんクラブ(1歳)について 　満足17人、ほぼ満足7人、やや不満0人、不満0人、参加したことない34人 ・ぴよちゃんタイム(0歳)について 　満足9人、ほぼ満足22人、やや不満1人、不満0人、参加したことない31人、無記入31人 ・ロボッ子タイム(北部コミュニティーセンターで開催)について 　満足3人、ほぼ満足1人、やや不満0人、不満0人、参加したことない47人、無記入7人 ・スキンシップタイム(0歳)について 　満足7人、ほぼ満足9人、やや不満1人、不満0人、参加したことない35人、無記入6人 ・ママのリフレッシュ講座(保護者対象)について 　満足2人、ほぼ満足3人、やや不満0人、不満0人、参加したことない46人、無記入7人 ・なごみたいム(保護者対象)について 　満足1人、ほぼ満足2人、やや不満0人、不満0人、参加したことない46人、無記入9人 <p>○児童用アンケート 回答者数50人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年 小1 5人、小2 8人、小3 8人、小4 7人、小5 12人、小6 10人、中学生以上 0人 ・性別 男 15人、女 35人 ・好きな遊び(3つまで) 　カード遊び 20人、人生ゲーム 19人、ボール遊び 18人、ぬりえ・お絵かき15人、漫画・本 15人、一輪車 14人 ・やってみたい行事(3つまで) 　ダンボール迷路 23人、おやつ作り 21人、おばけやしき 20人、なぞとき 17人、ビーズかざり作り 14人 |
| 利用者からの要望・苦情と対処・改善 | <p><要望⇒対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数が多くてゆっくり楽しめなかつたので制限をかけた方が良い ⇒ 人気の活動では、回数を増やす等の対応をさせていただきましたが、駐車場や会場が混雑し、ゆっくりしていただくことが出来ずすみませんでした。自由参加の活動ですが、制限をさせていただくか、申し込みにさせていただく等の対応をさせていただきます。 ・体を動かす遊具が欲しい ⇒ 遊具につきましては、部屋の広さや安全面を考え置いてあります。安全面のことを考え、現在置いてある遊具の数を増やしたり、今以上大きいものを置いたりは難しいかと思いますが、検討してまいりたいと思います。 ・3歳以上の子が遊べるおもちゃを充実して欲しい ⇒ おままごとのセットやプラレールなど、古くなっている物も多いので、新しいものに替え、増やし充実して遊べるよう対応させていただきました。 ・電池切れのおもちゃが多い ⇒ 電池のないおもちゃにつきましては、電池を入れても動かなくなってしまい、そのまま遊んでいただくおもちゃの中にはあります。そのようなおもちゃには明記するなどの対応をさせていただきます。 |

●指定管理者の選定基準に基づく評価

| 区分 | 選定基準 | 評価項目 | 具体的な業務要求水準 | 評価 | | |
|------------|---|--|---|-------|-----|-------|
| | | | | 指定管理者 | 所管課 | 評価委員会 |
| 公平性 透明性 | 住民の平等利用が確保されること | 平等利用を確保するための体制、モニタリングなど | ・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催 | A | A | A |
| | | 情報公開、広報の方策 | ・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど) | S | S | S |
| | 区分評価 | | | S | | |
| 効果性 | 事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること | 既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施 | ・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施 | A | A | A |
| | | 利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など | ・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応 | A | A | A |
| | | 利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など) | ・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施 | A | S | S |
| | | 利用促進、利用者増の方策 | ・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施 | A | S | S |
| | | サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど | ・事務分掌等に基づく事務分担の実施 | A | A | A |
| | | 施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置 | ・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること) | A | A | A |
| | 区分評価 | | | A | | |
| 効率性 | 事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること | 指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など) | ・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行) | A | A | A |
| | | 管理経費縮減の具体的方策 | ・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など) | A | A | A |
| | 区分評価 | | | A | | |
| 安定性 安全性 | 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること | 組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等 | ・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること) | A | A | A |
| | | スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制 | ・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施 | A | A | A |
| | | スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策 | ・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加 | A | A | A |
| | | リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど) | ・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践 | A | A | A |
| | 区分評価 | | | A | | |
| 貢献性 | 事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること | 地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等) | ・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用 | A | A | A |
| | | 地元での社会活動等への参加 | ・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施 | A | A | A |
| | 区分評価 | | | A | | |

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

| | |
|-------------------|---|
| 今期の取組みに対する評価 | 夏休み児童対象行事について、例年と違う内容も踏まえながら、おばけやしきなど多くの子どもたちが参加してくれました。お出かけ児童館も前期、平均して2~3回の移動児童館ができている。なごみたいムは、極端に参加者が増えることはないが、お友達同士誘い合って参加してくださり、アイロンビーズなどは子ども連れで楽しめて、リフレッシュにつながっていると思われる。ママのリフレッシュ講座も大変人気があり、誘い合って参加してもらっている。ただ、今年は暑かったせいか8月は利用者がやや少なめだった。前期、幼児クラブでの足形とりが人気を博し、大勢の参加でにぎわっていた。 |
| 前回までの意見を踏まえた取組み状況 | 前回からの課題の託児はなかなかクリアできないところではあるが、ボランティア団体等広くお願いをしていく。個別にもボランティア登録してくださるお母さんも出てきたので、都合が合えばお願いしていく。セルフネイルタイムは、なかなか人が集まらない状況なので、内容等の検討、変更も含めて考えていきたい。幼児クラブへの人気で来館者が大変多い日があり、駐車場の問題もありますが、多すぎて利用者の満足度が下がらないように気を付けていきたい。 |
| 今後の取組み | 後期は、秋まつり、あそびランドといった2大イベントがある為、無事に行えるようにスタッフと連携を取りながら行なっていきたい。幼児クラブは、2学期も定員いっぱいなので、事故がないように取り組んでいきたい。ネットワーク会議は、地域の方との大切な情報交換の場なので、大切にしていきたい。後期は、いろいろ目白押しなので、余裕をもって取り組んでいきたい。アンケートからの要望を改善し、おもちゃ等も入れ替えをし快適に利用してもらえるように努めていく。先の事件を受け、防犯訓練を行い、非常に備えるとともに、事故事件等のマニュアル類を整備していきたい。 |

●所管課の意見

| |
|---|
| 毎月のお便りは、担当小学校、幼稚園、保育所、公民館、地域の公園、北部コミセン、保健センターなどに配布した。また、ホームページにも掲載した。ホームページの職員ブログには、クラブや行事の様子を写真付きで掲載し、児童センターの雰囲気が伝わるよう工夫している。地域の情報誌「ふれあいタイムス」にも毎月の行事を掲載するなど広く広報活動を行っている。 |
| 新規事業として、幼児から小学生までの幅広い年齢を対象にぬりえ大会を実施し、来館者(子どもが中心)に投票してもらい、幼児、小学生それぞれの一番人気を決定することとし、子どもたちもやる気を引き出す事業となった。 |
| 母親を対象とした「ママのリフレッシュ講座」や「なごみたいム」、「セルフネイルタイム」を継続的に開催することで、母親のリフレッシュや交流の場を設ける事業を展開した。 |
| また、北部コミセンでの「ロボッ子タイム」や地域の公園に出向く「お出かけ児童館」など、移動児童館を半期に23回実施し積極的に取り組んだ。 |
| 災害・犯罪に備え、洪水時の要配慮者の避難計画と防犯マニュアルを策定するとともに、障がい者施設での事件を受けて常備してあるさすまたの使い方や避難誘導体制の確認を行った。これを機に各マニュアルの確認を行い再整備をする予定であり、安心・安全な児童センター運営を期待したい。 |
| 職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われている。 |

●指定管理者評価委員会の意見

| |
|--|
| ・若い母親が興味を引く事業を展開していることで児童センターに来館してもらって、職員との関係を深める努力をしていることを評価したい。 |
| ・移動児童館が減少傾向にあるため、増加するよう努力願いたい。 |
| ・アンケートの回答数を増やす方策をお願いしたい。 |
| ・利用者アンケートについて、「満足」「不満」「やや不満」などの選択肢があるが、ごく少数ではあるが「不満」「やや不満」などの意見は業務の改善や利用促進の貴重な意見であるため、「不満」「やや不満」の意見の場合、「なぜ不満であるのか」、「どうなるとよいのか」を聞き取れるようなアンケートの仕組みにしていただきたい。 |
| ・管理運営は適正に行われており、良好と認められる。 |